

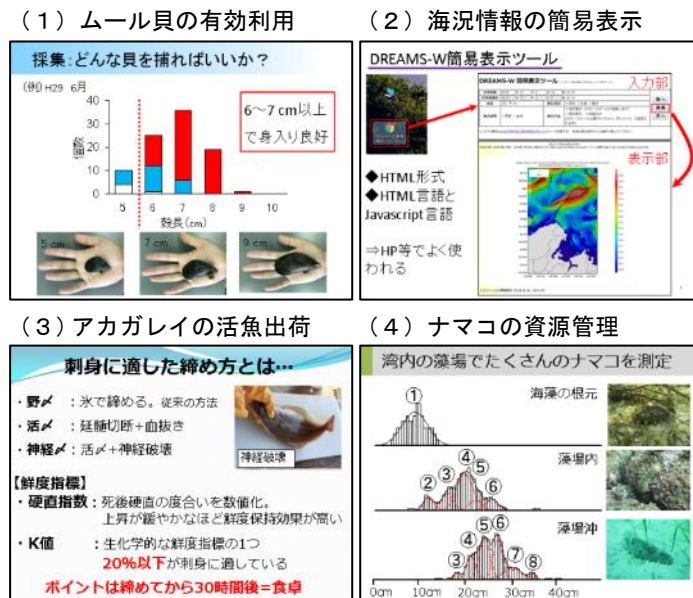
## 成果報告会で海洋センターの研究成果を発表

11月16日にみやづ歴史の館において、当センターの研究成果及び漁業者の優良活動を報告する平成30年度水産研究成果・実践活動報告会が開催され、府内から漁業者、海洋高校生、関連団体職員、観光業関係者等170名が参加しました。

当センターからは、(1) ムール貝の有効利用に向けた基礎的知見、(2) スマートフォンで簡単に海況予測が表示できるツールの開発、(3) 近年取組が始まったアカガレイの活魚出荷に係る技術的課題の解決手法、(4) 漁業者と一体となって進めた先進的なナマコ資源管理手法について発表しました。

発表に対する参加者からの関心も高く、「ムール貝の単価はいくらか」、「海の流れの予測は釣漁業にも活用できるか」「アカガレイの神経締めに必要な手間は」「魚によるナマコ捕食はあるのか」など、数多くの質問があり、活発な議論が交わされました。

今後とも、こうした機会を通じて漁業者や府民に研究成果を広く知っていただくとともに、漁業現場へ成果を確実に普及していきます。



研究成果を分かりやすく丁寧に説明 (発表スライドより)